



# Infor Configure Price Quote Sales Portal ユーザー

## ガイド

リリース 8.1

## 重要事項

本書に含まれる資料(あらゆる補足情報を含む)は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料(当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む)、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関係するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約(この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます)に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的(以下、「目的」という)として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲読に基づく権利、権原及び利益(すべての修正、翻訳または翻案を含む)は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは本書に含まれる資料を正確で完全なものとするべく注意を払っていますが、Inforは本書に含まれる情報が完全で、誤植やその他の誤りがなく、使用者の特定要件に合致するものであることを保証しません。したがって、Inforは、本書(あらゆる補足情報を含む)の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

## 商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

## 発行情報

リリース: Infor Configure Price Quote Sales Portal 8.1

発行日: 2017年3月7日

ドキュメントコード: cpqsp\_8.1\_spug\_\_ja-jp

# 目次

このガイドについて.....	5
Infor へのお問い合わせ.....	5
<b>第 1 章 : Sales Portal 入門.....</b>	<b>7</b>
Sales Portal ワークフローについて.....	7
ブラウザ設定の更新.....	7
Sales Portal にサインイン.....	8
ホームページについて.....	8
ナビゲーションバーの使用.....	8
Sales Portal での情報検索.....	9
ディーラーの代理人検索.....	9
<b>第 2 章 : 顧客および連絡先の取り扱い.....</b>	<b>11</b>
顧客について.....	11
顧客の作成.....	11
ディーラーの場所での顧客の有効化.....	13
出荷先住所の作成.....	13
連絡先の作成.....	14
<b>第 3 章 : 見積および注文の取り扱い.....</b>	<b>15</b>
読み取り専用モードでの見積および注文の閲覧.....	15
見積について.....	15
サブライン品目.....	16
顧客の拡張検索.....	17
表示製品カタログ.....	18
見積の取り扱い.....	19
見積の作成.....	19
品目のコンフィギュレーション.....	22
サブラインの作成.....	23
迅速変更の使用.....	24
グローバルオプションのコンフィギュレーション.....	24
見積行の調整.....	25
見積から注文への変換.....	25
すべての見積行のエクスポート.....	26
見積行のインポート.....	26
見積/注文へのファイル添付.....	26
見積/注文行へのファイル添付.....	27

---

見積または注文を新しいタブで開く.....	27
期限切れ、機会を逸した (損失)、または破棄済み見積の取り扱い.....	28
見積または注文の電子メール送信.....	28
校正レポートの生成.....	29
注文の取り扱い.....	30
注文の作成.....	30
<b>第 4 章 : プロジェクトおよびジョブについて.....</b>	<b>31</b>
プロジェクトおよびジョブの取り扱い.....	31
プロジェクトの作成.....	31
ジョブの作成.....	32
<b>第 5 章 : 提案書について.....</b>	<b>33</b>
印刷オプションの設定.....	33
提案書の優先事項設定.....	33
提案の価格設定の表示変更.....	35
PDF ファイル形式要件.....	35
<b>第 6 章 : Sales Portal のパーソナライズ.....</b>	<b>37</b>
ユーザーおよび会社のプロフィールについて.....	37
プロフィールの作成.....	37
会社プロフィールの作成.....	38
場所の管理.....	39
優先事項の変更.....	39
アプリケーションの設定の閲覧.....	42
アプリケーションの設定の追加.....	42
デフォルトのアプリケーション設定.....	42
Sales Portal トレースの有効化.....	44

# このガイドについて

このガイドは、Sales Portal クライアントアプリケーションを理解し、操作し、使用するための情報を提供します。

## 対象者

このガイドの対象者は、Sales Portal クライアントアプリケーションを通じて組織の見積および発注の管理を担当するユーザーおよびアドミニストレーターです。

## 構成

以下の表で、このガイドの各セクションの内容を説明します。

セクション	説明
Sales Portal 入門	Sales Portal で使われる用語および概念を紹介します。また、開始とナビゲーションの方法を説明します。
顧客および連絡先の取り扱い	顧客および連絡先の作成とメンテナンス
見積および注文の取り扱い	見積および注文の作成とメンテナンス
プロジェクトおよびジョブについて	プロジェクトおよびジョブの作成とメンテナンス
提案書について	提案の優先事項の設定方法と提案書のカスタマイズ方法
Sales Portal のパーソナライズ	Sales Portal アプリケーションの設定と優先事項、および会社とユーザーのプロファイルの作成

## Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するご質問は、Infor Xtreme サポートポータル (<http://www.infor.com/inforxtreme>) をご利用ください。

製品リリース後にドキュメントを更新した場合は、Infor Xtreme に新しいバージョンを掲載します。この Web サイトでドキュメントの改訂を定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントについてのご意見は、[documentation@infor.com](mailto:documentation@infor.com) にお寄せください。



Sales Portal は、ディーラー、ディストリビューター、および貴社の直接販売要員を含め、ご使用のあらゆるチャンネルを通じた、受注仕様製品と標準製品の両方の販売のための、包括的な価格設定、見積作成、および発注システムです。

## Sales Portal ワークフローについて

Sales Portal 内の情報の中には、作成する前に、前提条件を必要とするものがあります。例えば、連絡先を作成するにはまず顧客を作成しなければなりません。また、プロジェクトが既に存在しなければ、ジョブを作成することはできません。

Sales Portal での基本的なワークフローの進行:

- 1 顧客の作成
- 2 連絡先の作成
- 3 プロジェクトの作成 (必要に応じて)
- 4 ジョブの作成 (必要に応じて)
- 5 見積の作成
- 6 注文の作成
- 7 提案書の印刷 (最終見積および注文の閲覧および印刷)

## ブラウザ設定の更新

Sales Portal は広範囲のデスクトップおよびモバイルのブラウザに対応しています。

- タブレットユーザー:iPad および iPhone は最新バージョンの iOS を必要とします。Sales Portal は iOS 5.0.1 以降に対応しています。
- Safari ユーザー:ご使用のブラウザで、Tab キーによりウェブページ内の各項目を強調表示する設定にしてください。また、サードパーティー Cookie を受け入れるオプションをオンにしてください。

- Internet Explorer 9 および 10 ユーザー:ご使用のブラウザで、[イントラネットサイトを互換表示で表示する] オプションをオフにしてください。また、[互換表示ですべての Web サイトを表示する] オプションをオフにしてください。
- Google Chrome ユーザー:ご使用のブラウザで、ブラウザ終了時に Cookie などのサイトデータやログインデータを消去するコントロールをオフにします。

## Sales Portal にサインイン

- 1 [スタート] > [CPQ] > [CPQ Sales Portal 8.1] > [CPQ Sales Portal 8.1]を選択します。
- 2 [ユーザー ID] と [パスワード] を指定します。
- 3 必要に応じて、[ログオンしたままにする] チェックボックスを選択します。
- 4 [サインイン] をクリックします。ホームページまたは希望のエンティティ検索グリッドが表示されます。これは Admin System を介してカスタマイズできます。

## ホームページについて

ホームページは、Sales Portal へのアクセスを提供します。また、Sales Portal のその他のアドオン、ウェブページ、およびドキュメンテーションへのアクセスを提供します。

有効に設定されている場合は、Sales Portal Admin System を介して現在のユーザーアカウントへ送られたシステムメッセージがシステムメッセージツールバーに表示されます。

## ナビゲーションバーの使用

ボタン	説明
ホーム	ホームページに戻ります。
見積	新規の見積を作成したり、既にある見積を検索したりします。「見積の取り扱い」を参照してください。
注文	新規の注文を作成したり、既にある注文を検索したりします。注文への各ユーザーのアクセスは、Admin System における注文権限設定によって管理されます。「注文の取り扱い」を参照してください。
顧客	新規の顧客を作成したり、既にある顧客を検索したりします。
プロジェクト	新規のプロジェクトを作成したり、既にあるプロジェクトおよび関連ジョブを検索したりします。
マイ品目	新規のマイ品目を作成したり、既にあるマイ品目を検索したりします。



ボタン	説明
アカウント情報	<p>マイプロフィール:現在ログインしているユーザーのプロファイルおよびユーザーレベルアプリケーション設定を表示します。「ユーザーおよび会社のプロフィールについて」を参照してください。</p> <p>マイ会社プロフィール:現在ログインしているユーザーに関連する会社情報を表示します。アクセス権限はAdmin Systemにおける[ディーラーの管理]の設定によって異なります。このプロフィールの作成および編集に関する詳細情報については「ユーザーおよび会社のプロフィールについて」を参照してください。</p> <p>ヘルプ:Channel Salesドキュメンテーションを表示します。</p> <p>ログオフ:システムをログオフし、アプリケーションをログインダイアログに戻します。異なるユーザーでログインを試みる前に、必ずログアウトしてください。それによって元のセッションが適切に終了します。</p>

## Sales Portal での情報検索

Sales Portal 内の情報を検索する際には、検索オプションを使用して、[検索]フィールドやグリッド列を使用して検索対象を絞り込むことができます。

- 1 ナビゲーションバーからタブを選択します。
- 2 [検索]を選択します。
- 3 検索基準を指定します。検索フィルタを消去するには、[消去] ボタンをクリックします。
- 4 検索結果をソートするには、列ヘッダーをクリックします。
- 5 特定のレコードを取り扱うには、そのレコードのアクションメニューからオプションを選択します。レコードを開き、コピーし、削除することができます。見積りや注文の印刷やエクスポートも可能です。

## ディーラーの代理人検索

代理人ユーザーとしてディーラーを検索するとき、割り当てられたユーザー場所に基づいて担当がアクセスするディーラー会社のみが表示されます。

- ダイレクトセールス顧客の代理人になることはできません。
- ディーラーは、品目リスト内に表示される前に、少なくとも1つの担当をもっていなければなりません。
- 代理人ユーザーには場所を割り当てることができます。

担当は、特定のディーラーの代理人として操作するときは、そのディーラー会社に関連してその担当に割り当てられている場所の特定の一部分にのみ、実体を関連付けることができます。

代理人ユーザーは、自分が代理するディーラー会社を最初に選択することなく、見積り検索を実行することができます。この場合、見積りの検索結果は、代理人ユーザーがアクセスできる場所で絞り込まれます。検索結果から特定の見積りを選択し、それに対して作業を開始すると、その見積りを作成したディーラー会社を担当が代理する「代理人モード」になります。

詳細情報については、『Infor Configure Price Quote 8.1 Sales Portal Admin System ユーザーガイド』を参照してください。

Sales Portal システム内で顧客および連絡先を作成し、管理します。

### 顧客について

顧客は、連絡先を雇用する会社または組織です。貴社の方針に従って、ディーラー、ディストリビューター、または受託業者といったさまざまなカテゴリの顧客があります。

見積を作成するときは、見積に関連付ける顧客を選択することができます。このステップは任意です。見積に関連付ける顧客を選択すると、その顧客の情報が [ヘッダー] タブに表示されます。

多くのオプションや機能について、表示をカスタマイズできます。「優先事項の変更」を参照してください。

[出荷先住所] タブには、タブの検索グリッド内に表示する出荷先住所リストが含まれています。

[デフォルト条件] タブには、割引、利幅、税金、および支払条件についての情報が含まれています。出荷の優先事項も含まれています。取引条件データは、ディーラーと顧客の間の条件を表しています。条件は顧客ごとに異なる場合があります。この条件タブで追加料金、利幅、または税金を変更した場合、その変更は、この顧客、およびこの顧客への見積にしか影響しません。[見積] ダイアログの [価格設定] タブを使用して、その顧客の見積ごとに、割引、利幅、および税金を変更することもできます。

[連絡先] タブを使用して、その顧客の連絡先および連絡先情報を追加することができます。連絡先を作成する前に、顧客を作成してください。

[顧客通貨] フィールドを使用して、その顧客のデフォルト通貨と為替レートを定義します。ここで顧客デフォルト通貨と為替レートを定義すると、見積および注文においてはそれが優先され、[製造基本通貨]、[ディーラー通貨]、および [為替レート] (定義されている場合) は無視されます。定義すると、その値は入力パラメータとして、コンフィギュレーション品目用 Configurator に渡されます。

### 顧客の作成

- 1 [顧客] > [新規]を選択します。
- 2 以下の情報を指定します。

[顧客 ID]

このフィールドは、各顧客を一意に特定するシステム生成顧客番号を示します。このフィールドは編集することができません。

[住所]

顧客の住所を指定します。この住所は請求先住所ともいいます。

[状況]

顧客状況を指定します。リストから、[アクティブ]、[非アクティブ] のいずれかを選択します。ここで、顧客を削除する代わりに非アクティブにすることができます。

[タイプ]

顧客の事業のタイプを選択します。[下請業者]、[請負業者]、[建築士] などがあります。

[デフォルト連絡先]

顧客に関連付けたデフォルト連絡先の名前を選択します。顧客の作成後、その顧客の連絡先を作成することができます。顧客に複数の連絡先を作成した場合、その顧客に戻って、それらの連絡先のうち 1 つをデフォルト連絡先として指定することができます。

[製造基本通貨]

Admin System において製造業者によって定義される製造基本通貨を示します。

[顧客通貨]

顧客のデフォルト通貨を指定します。定義すると、顧客通貨は、製造基本通貨およびディーラー通貨 (定義されている場合) の両方に優先します。このオプションは、[多通貨] 優先事項が有効化されている場合に使用することができます。この値は、見積レベルでの報告通貨をデフォルト設定するためにも使用します。

[為替レート]

製造基本通貨と顧客通貨の間の為替レートを指定します。このオプションは、[多通貨] 優先事項が有効化されている場合に使用することができます。顧客レベルで為替レートを調整すると、それは「製造業者 (製造基本通貨) から顧客 (顧客通貨) へ」のレートとなります。この為替レートを使用して、見積の [見積行] セクション内で品目の価格を計算し、見積の価格設定タブ内で品目を閲覧することができます。定義すると、この為替レートは、ディーラーレベルでの為替レート (定義されている場合) に優先します。

[すべての場所で有効化]

システムアドミニストレーターによってディーラーごとに作成されるすべての現在および将来の場所でこの顧客を有効化するかどうかを指定します。顧客の [すべての場所で有効化] が有効化されている場合、場所アクセスグリッドは読み取り専用モードで表示されます。この設定は、その顧客に関するすべての現在の場所アクセスレコードに優先します。既にある場所が有効化されていて、このチェックボックスにチェックマークが付いている場合、後でチェックマークを外すと、以前に有効化された場所が記憶されています。しかしながら、[すべて有効化] チェックボックスにチェックマークを付ける前に、初めに無効化された場所がある場合、その場所に関連付けられた見積、注文、またはプロジェクトがアクティブになり、その場所が自動的に有効化されます。「ディーラーの管理」権限を有するユーザーのみが、この設定を更新することができます。

[デフォルト出荷先]

顧客のデフォルト出荷先住所をこのオプションリストから選択します。

3 必要に応じて、[出荷先住所] タブを選択します。

- 4 [新規出荷先] ボタンをクリックして、顧客住所情報を指定します。
- 5 [OK] をクリックします。
- 6 [デフォルト条件] タブを選択し、顧客価格設定、取引、および出荷の条件情報を指定します。パーセント値は小数第 2 位まで指定できます。

## ディーラーの場所での顧客の有効化

[ディーラーの場所] タブは、システムアドミニストレーターがディーラーに対して [場所セキュリティ] を有効化した場合に限り表示されます。ログオン中の担当がアクセスできる場所の検索グリッド内で、顧客を有効化します。顧客を作成する時、デフォルトでは担当がアクセスできるすべての場所が有効化されています。ある顧客に対して [すべての場所でも有効化] 設定が有効化されている場合、場所アクセスグリッドは読み取り専用モードで表示されます。一つの顧客において、[すべての場所でも有効化] 設定は、すべての現在の場所アクセスレコードに優先します。

### 場所における顧客の有効化または無効化

- 1 [有効化] 列内のチェックボックスにチェックマークを付けます。

### すべての場所の有効化

- 1 [すべて有効化] をクリックすることによって、検索グリッドに現在表示されているすべての場所を有効化することができます。

### すべての場所の無効化

- 1 [すべて無効化] をクリックすることによって、検索グリッドに現在表示されているすべての場所を無効化することができます。

## 出荷先住所の作成

顧客の出荷先住所と請求先住所が異なる場合は、ここで出荷先住所を作成します。

- 1 [出荷先住所] > [新規出荷先住所] を選択します。
- 2 出荷先情報を指定します。
- 3 [OK] をクリックします。

## 連絡先の作成

連絡先、特にデフォルト連絡先は、あなたが最も頻繁に連絡を取り合う、顧客会社側での窓口となる人物です。各顧客にデフォルト連絡先を割り当てます。

- 1 [顧客] > [連絡先] を選択します。
- 2 [新規連絡先] をクリックします。
- 3 連絡先の情報を指定します。
- 4 [OK] をクリックします。この顧客に初めて作成した連絡先である場合、これがデフォルト連絡先になります。希望する数だけ顧客に連絡先を追加できますが、デフォルト連絡先は 1 つしか選択できません。

Sales Portal システム内で見積および注文を作成します。見積を作成し、それを注文に変換することができます。見積を作成せずに注文を作成することもできます。

## 読み取り専用モードでの見積および注文の閲覧

「オープン」状況でない注文や見積は読み取り専用ビューで閲覧できます。読み取り専用ビュー内では、見積または注文ごとに設定されたフィールドは閲覧することができますが、編集することはできません。この機能によって、ヘッダー添付ファイル、行添付ファイル、および注文詳細に関連付けられた情報などの注文情報を検証することができます。読み取り専用ビューでは、以下の作業が可能です。

- ヘッダー添付ファイルの閲覧および表示
- 行添付ファイルの閲覧および表示
- 校正レポートの閲覧
- 見積または注文の印刷
- オリジナルの見積または注文のプレビュー
- 注文の新規見積へのコピー
- 見積または注文のエクスポート
- 見積または注文の削除
- Document Automation (Sales Portal Administration で有効化されている場合) を使用した提案書作成
- 価格調整ワークシートの閲覧
- ヘッダー、価格設定、品目、およびコメントタブ内のすべての詳細情報の閲覧

## 見積について

[見積] ダイアログボックスを使用して、見積を新規作成できます。見積の [ヘッダー] タブおよび [コメント] タブで、品目を追加および構成し、価格設定をセットし、出荷情報および連絡先情報を指定します。

[ヘッダー] タブには、見積についての追加情報が含まれています。この情報は、現在の見積にのみ適用されます。例えば、出荷先住所を変更した場合、それは現在の見積でのみ変更されます。その新しい住所がメイン顧客情報レコードに自動的に保存されることはありません。

- [出荷情報] セクションで、この注文における出荷優先事項を入力できます。例えば、注文された分すべて一気に出荷するか、それとも、準備できた分から出荷していく「部分出荷」にするか、などを選択できます。このセクションでは、運賃条件、運送業者、方法、および出荷日を選択できます。
- [支払情報] セクションを使用して、この見積のための支払条件および支払方法に関する情報を入力できます。Admin System で [多通貨] が有効化されている国際的ユーザーの場合、為替レートおよび報告通貨を指定します。

見積レベルで報告通貨および為替レートを調整すると、それは「ディーラー (ディーラー通貨) からエンドユーザー (報告通貨) へ」のレートとなります。見積提案書印刷レポートでは、ここで設定する為替レートが使用されます。現在の顧客に関して顧客通貨が定義されている場合、顧客通貨が表示され、報告通貨は、デフォルトでは顧客に定義されている通貨になります。

- [連絡先情報] セクションを使用して、この見積での主たる連絡先を選択します。このセクションでは、連絡先の電子メールアドレス、電話番号、およびファックス番号も入力できます。

[価格設定] タブには、顧客に対する追加割引、追加料金、および税金情報が含まれています。この情報を追加または変更することにより、価格の計算方法を決定します。

見積を新規作成すると、Sales Portal は自動的にシステムおよび顧客の取引条件を生成します。それらのデフォルト値が [価格設定] タブに表示されます。ここでデフォルト値を上書きできます。この変更は現在の見積にのみ適用されます。元のシステムデフォルト取引条件や既存の顧客取引条件が書き換えられることはありません。

[品目] タブには、見積の対象となる品目コンフィギュレーションの情報が表示されます。

- [品目選択] セクションで、品目および関連コンフィギュレーションオプションを選択できます。次に、見積に品目を追加します。
- [見積行] セクションで、品目の価格設定およびコンフィギュレーション情報を閲覧できます。品目を修正し、価格設定情報を調整することもできます。

## サブライン品目

親コンフィギュレーション品目の子としてサブライン品目を作成できます。サブライン品目は、コンフィギュレーション品目の下で、インデントされた読み取り専用品目として表示されます。サブラインは、

- 親行番号.サブライン番号という形式で番号が付けられ (例: 1.1、1.2、1.3...)、[見積行] セクション内で点線で分けられています。

サブラインは、CreateSalesPortalSubline テンプレートを使用する統合ルールの使用を通じたコンフィギュレーション品目ルールセットに基づいて作成することができます。テンプレートは Sales Portal Admin System からインストールされます。

### [見積行] セクション内でのサブライン品目対応

- コンフィギュレーション不可品目はサブライン品目として戻されることがあります。サブライン品目は、Admin System で定義済みでなければなりません。コンフィギュレーション可能な、マイ品目、および書き込み品目は、サブライン品目として戻す対応になっていません。



- コンフィギュレーション親行の価格は、サブライン品目を集計したものです。
  - サブラインが存在する場合は、コンフィギュレーション親行で価格調整を使用できません。
- 価格調整はサブライン品目でサポートされています。それによってコンフィギュレーション親行の価格が再計算されることになります。
- ラベルは、[見積行] セクションで手作業で更新することができます。
- 値が指定されていない場合、当該値が Admin System で定義されているときは、サブライン品目の作成時に使用します。それらのフィールドは、CreateSalesPortalSubline 統合ルールに基づいて更新することができます。
  - 品目番号
  - 説明
  - 数量
  - 単位
  - 単価
  - ラベル
  - 順序
- 非コンフィギュレーション品目に、Admin System で定義されたイメージリンクがある場合、当該品目は品目に関して表示されます。
- コンフィギュレーション品目を再コンフィギュレーションするとき、サブライン品目は前回の正常なコンフィギュレーション結果に基づいてリフレッシュされます。
- コピーはサブライン品目に対応していません。サブラインを含む親行がコピーされる場合、当該サブラインは、親行に倣ってコピーされます。
- 添付データはサブライン品目に対応しています。
- コメントはサブライン品目に対応しています。

## 顧客の拡張検索

顧客の特徴の拡張検索を使用するために、この作業を完了します。拡張検索機能は、見積、注文、およびプロジェクトに関して使用することができます。

顧客の拡張検索を実行するには:

- 1 Sales Portal で、必要な見積を開きます。
- 2 [顧客] フィールドで [ループ] アイコンを選択して、拡張検索機能をスタートします。
- 3 以下の列のいずれかに情報を入力することによってフィルタリングします。
  - 名前
  - 住所
  - 市
  - 都道府県
- 4 必要な顧客行を選択します。

## 表示製品カタログ

[見積] ページで [製品カタログ] ボタンを選択して [製品カタログ] カテゴリウインドウを開くことができます。この機能によって、各品目に関連付けられている事前設定イメージに基づいて、行品目を選択することができます。[製品カタログ] カテゴリウインドウでは、品目の名前および説明に基づいて検索することもできます。視覚的カテゴリとそれらの関連サブカテゴリおよび関連イメージは、Sales Portal Administration で、[製品メンテナンス] > [カテゴリ] によって定義されます。

表示カタログまたは拡張フィルタ機能の使用を開始する前に、[優先事項] > [見積/注文メンテナンス] > [拡張フィルタ] の順に選択し、[データを最新の情報に更新] ボタンをクリックします。数分待ってから、F5 キーを押して Sales Portal 画面をリフレッシュします。

表示製品カタログを使用すれば、見積に品目を直接追加することができます。各製品は、関連する [追加] ボタンおよび [詳細] ボタンを備えています。

### [[追加] ボタン]

[追加] ボタンをクリックすることによって、表示されている見積に関連付ける品目を追加することができます。

### [[詳細] ボタン]

[詳細] ボタンをクリックすることによって、フィルタ属性を含め、その製品に関連付けられているすべての詳細を閲覧することができます。[数量] フィールドに必要な数を指定し、[追加] をクリックすることによって、[製品詳細] ウインドウから見積に製品を追加することができます。

## ファセットを使用した拡張検索

表示製品カタログにより、セットされた品目属性 (ファセット) に基づいて検索結果を絞り込むフィルタリングが可能になります。要件にマッチするファセットのボックスにチェックマークを付けることによって、検索結果を絞り込みます。これにより、検索結果は、検索基準に適合するファセット情報を含むもののみ限定されます。これらの追加はすべて、初回検索基準を完了した後に、拡張製品カタログで確認することができます。製品への追加ファセットについての情報に関しては、Infor Sales Portal Administration ユーザーガイドを参照してください。

表示カタログまたは拡張フィルタ機能の使用を開始する前に、[優先事項] > [見積/注文メンテナンス] > [拡張フィルタ] の順に選択し、[データを最新の情報に更新] ボタンをクリックします。数分待ってから、F5 キーを押して [Sales Portal] 画面をリフレッシュします。

## ディーラー担当への言語の関連付け

- 1 Sales Portal 内で、[アカウント情報] > [ヘルプ] を選択します。
- 2 [担当] タブを選択します。
- 3 リストから必要なディーラーを表示させます。
- 4 [アプリケーションの設定] セクションの [言語] フィールドメニューから、必要な言語を選択します。
- 5 [OK] をクリックします。
- 6 翻訳された環境を閲覧するために、編集中のディーラーログイン資格情報によって、Sales Portal に再度ログインします。

# 見積の取り扱い

Admin System 内で見積を作成し、メンテナンスする。

## 見積の作成

顧客の見積または注文を作成する前に、Sales Portal 内に顧客を作成する必要があります。

- 1 [見積] > [新規]を選択します。
- 2 以下の情報を指定します。

### [場所]

場所のセキュリティが有効化されている場合、ディーラー場所を選択します。

### [顧客]

必要に応じて、オプションリストから顧客を選択します。選択した顧客の通貨および為替レート (顧客情報レコードで定義) が異なる場合、現在の見積とすべての行は、その新しい通貨および為替レートで再計算されます。既存の見積で新しい場所を選択した場合、既に選択されている顧客がその新しい場所にも存在する場合は、その顧客が選択されたままになります。

### [見積名]

見積に一意の名前を指定します。

### [バージョン]

必要に応じて、見積の新しいバージョンを作成します。状況が「損失」または「破棄」である見積バージョンは選択リストから除去されます。各バージョンは、それぞれ独立したエンティティであり、見積 ID の末尾に付いた番号で識別されます。見積の一つのバージョンが注文に変換されると、その見積の他のバージョンはすべて非アクティブになります。

- 3 [ヘッダー] タブをクリックします。
- 4 以下の情報を指定します。

### [発注番号]

見積に顧客発注番号を割り当てます。

### [見積状況]

見積に状況を割り当てます。[損失] または [破棄] を選択した場合、見積はシステムに保存され、「クローズド」となり、編集できなくなります。再度この見積を編集するには、それをエクスポートして、新規見積にインポートする必要があります。損失および破棄済み見積は、機会が得られなかった場合に、後で機会が得られるときに備えて意味を持ち続けるため、それらの見積バージョンの処分を記憶させておく必要があります。

### [プロジェクト]

必要に応じて、見積をプロジェクトに関連付けます。プロジェクトが一つも存在しない場合、このオプションは非アクティブです。

### [ジョブ]

必要に応じて、この見積に関連付けたプロジェクトにかかわるジョブを選択します。ジョブが一つも存在しない場合、このオプションは非アクティブです。

### [利用終了日]

このフィールドには、自動生成された有効期限が表示されます。見積の有効期限はデフォルトで 30 日です。製造業者は、この設定を変更することができます。

### [出荷先]

出荷先住所を指定します。出荷先住所と請求先住所が同じである場合、[請求先住所の使用]を選択できます。もしくは新しい出荷先住所を入力できます。

### [出荷情報]

この注文に適用する出荷優先事項を指定します。例えば、注文された分をすべて一気に出荷するか、それとも、準備できた分から出荷していく「部分出荷」にするか、などを選択できます。このセクションでは、運賃条件、運送業者、方法、および出荷日を選択できます。

### [支払情報]

この見積のための支払条件および支払方法を指定します。Admin System で [多通貨] が有効化されている国際的ユーザーの場合、為替レートおよび報告通貨を指定します。

ここで、つまり見積レベルで報告通貨および為替レートを調整すると、それは「ディーラー (ディーラー通貨) からエンドユーザー (報告通貨) へ」のレートとなります。見積提案書印刷レポートでは、ここで設定する為替レートが使用されます。[印刷オプション] ダイアログボックスでレートを変更することもできます。現在の顧客に関して顧客通貨が設定されている場合、顧客通貨が表示され、報告通貨は、デフォルトでは顧客に定義されている通貨になります。

### [連絡先情報]

この見積での主たる連絡先を指定します。

- 5 [価格設定] タブをクリックします。テキストボックス内でパーセント値またはドル金額を指定することによって、見積の価格設定をカスタマイズすることができます。見積作成時、あらゆる変更が [品目] タブ内で更新されます。
- 6 以下の情報を指定します。

### [価格調整]

[価格調整] ダイアログボックスを使用して、見積に追加された各行の価格を調整できます。コンフィギュレーション品目がサブライン子品目を持っている場合、価格調整はすべてサブラインレベルで行う必要があります。これによって、コンフィギュレーション品目の割引および価格が再計算されます。

### [列]

[ヘッダーレベル] 列には、各行のデフォルト値が表示されます。[価格調整] ダイアログで行を変更した場合、有効値はデフォルト値とは異なる場合があります。[考慮すべき値] 列には、見積に品目を追加した後に算出された価格が表示されます。[合計] 列には、見積提案書に表示される値が表示されません。

### [マイ原価]

製造業者による品目の価格を指定します。

**[自分の追加料金]**

顧客に対する販売価格の増額を指定します。

**[見積小計 (定価)]**

追加割引の前に、顧客に対する販売価格を指定します。販売税 (消費税) が計算されます。

**[追加割引]**

顧客に対する追加割引を指定します。ここで指定する割引は、追加割引として、見積提案書に表示されます。このパーセント値は、顧客のデフォルト取引条件により、自動的にデフォルトで算出されます。この割引は変更することができます。このフィールドにより、割引に指定された金額が最終価格から減額されます。これらの調整を後で追跡できるように、価格設定コメントボックスにコメントを書き込みます。このコメントは提案書には印刷されません。

**[調整済み小計 (割引)]**

追加割引および税金計算後の、品目の販売価格です。

**[税]**

このパーセントは、デフォルトで顧客の取引条件から算出され、見積提案書に表示されます。この割引は変更することができます。

**[労務費税]**

この属性によって、労務品目に対する税金から標準税額を区分し、異なる税率を設定することができます。品目が材料費または労務費品目である場合に、労務費税は製品レベル (製品、マイ品目、および書込み) で使用されます。このフィールドは、材料費税、労務費税、材料費額、および労務費額に関する見積ヘッダー内で使用することができます。顧客の労務費税が発生するため、新規見積および特定の顧客の作成時、この労務費税を見積に適用します。労務費として表示される行を見積に追加するとき、当該行には、見積に割り当てられている労務費税率を記入します。この属性は [顧客] > [デフォルト条件] > [取引条件] で設定します。

**[その他請求 (指定)]**

必要に応じて、その注文に関連して発生する追加料金を指定します。見積ヘッダーコメントに料金の理由を記入し、見積優先事項として、提案書に見積コメントを表示するよう設定します。

7 [品目] タブをクリックします。

8 以下の情報を指定します。

**[品目]**

オプションリストから品目を選択します。

**[ラベル]**

品目のラベルを指定します。

**[数量]**

品目の数量を指定します。

9 必要に応じて [コンフィギュレーションオプション] タブのコントロールを使用して、オプションを選択します。このタブのオプションは、Design Studio 内の拘束モデルによって設定します。

10 [追加] をクリックします。品目が見積に追加され、[注文行] セクションに表示されます。

11 必要に応じて、[名前付きコンフィギュレーション] ボタンをクリックすることによって、各コンフィギュレーション可能行に指定したコンフィギュレーションを管理することができます。

- 12 必要に応じて、[書込品目追加] をクリックすることによって、書込品目を見積に追加することができます。
- 13 必要に応じて [コンフィギュレーション] ボタンをクリックすることによって、当該品目に関する詳細オプションを閲覧し、選択することができます。
- 14 必要に応じて、[印刷] ボタンをクリックすることによって、見積提案書を閲覧することができます。

## 品目のコンフィギュレーション

この表は、[コンフィギュレーション] をクリックして品目をコンフィギュレーションするときに、さまざまなアクションを実行するのに使用するボタンを示しています。

注: タブレットユーザーは Configurator の一部の機能を使用できません。タブレットユーザーは [印刷] リンクや [全画面] リンクを使用できません。タッチスクリーンインターフェースのお陰で、垂直および水平スクロールバーを使用することはあまりないかもしれません。

ボタン	説明
続行または完了	[継続] ボタンまたは [完了] ボタンのいずれかが上部および下部ツールバーに表示されます。これは、ユーザーがオプション選択プロセスのどの段階にいるかによります。最終ページの前までは [継続] ボタンが表示されます。オプションをすべて選択し終わると [完了] ボタンが表示されます。
印刷	品目の詳細オプションを印刷します。
キャンセル	詳細オプション選択プロセスをキャンセルし、ユーザーを見積または注文に戻します。
価格	コンフィギュレーション中の品目の価格を表示します。価格計算に影響を与えるオプションを選択すると更新されます。
詳細	価格詳細一覧を視覚化ペイン内に開くことによって、品目の個別オプションに関する価格明細を表示することができます。
表示	ペイン内に表示される視覚化ビューのオプションを提供します。
全画面	選択されたビューを新しいウインドウで開きます。
ズーム	視覚化ビューとして [イメージ] を選択すると表示されます。
移動	視覚化ペイン内でのイメージの位置を変更します。視覚化オプションとして [イメージ] を選択すると表示されます。
リセット	イメージを元の位置およびズームレベルにリセットします。視覚化オプションとして [イメージ] を選択すると表示されます。

## サブラインの作成

サブライン品目は、親コンフィギュレーション品目の子として作成され、コンフィギュレーション品目の下にインデントされた読み取り専用品目として表示されます。サブラインは、統合ルールの使用を通じて設定されたコンフィギュレーション品目ルールにより作成されます。この統合ルールは、Sales Portal Admin System の [見積/注文メンテナンス] 優先事項でインストールされた CreateSalesPortalSubline テンプレートを使用します。

サブライン品目の数量が Configurator によって決定される場合は、Sales Portal Admin System で、コンフィギュレーション製品レコードの [数量変更時のコンフィギュレーション] フラグを有効化する必要があります。これにより、ユーザーがコンフィギュレーション行で数量を変更すると、そのコンフィギュレーションが検証され、コンフィギュレーションからの出力に基づいてサブライン品目の数量がリフレッシュされるようになります。サブラインを持つコンフィギュレーション品目で [数量変更時のコンフィギュレーション] フラグを有効化していない状態でユーザーがコンフィギュレーション行の数量を更新した場合、Sales Portal はサブラインを再計算し、コンフィギュレーション行・サブライン間の既存の比率を維持しようと試みます。比率を維持できない場合、そのコンフィギュレーション行は無効とみなされ、検証または再コンフィギュレーションを必要とします。

品目を再コンフィギュレーションすると、サブラインは、前回の正常なコンフィギュレーションに基づいてリフレッシュされます。既にあるサブライン IntegrationOutputID と一致する IntegrationOutputID を有する、再設定により設定された結果の中にサブラインがある場合、既にあるサブラインはリフレッシュされ、添付、コメント、および価格調整は維持されます。既にあるサブラインの IntegrationOutputID と一致しない IntegrationOutputID を有する、再設定により設定された結果の中にサブラインがある場合は、新規サブラインが追加されます。再設定により設定された結果の中にない IntegrationOutputID を有する、既にあるサブラインがある場合、それらのサブラインは関連内容とともに削除されます。テンプレートには下記のフィールドが含まれています。

- CreateSalesPortalSubline 統合ルールテンプレート
  - IntegrationOutputID
    - デフォルト値: =Create(Guid)
    - 統合でこのデータを参照するために使用する ID です。(各サブラインに対し、一意の値を指定するか、または関数 =CreateGuid() を使用して一意の値を生成します。)
  - ItemNumber
    - デフォルト値:
    - サブライン用品目番号です。これは、Admin System 内で定義される、既にある製品番号です。
  - 説明
    - デフォルト値: =NULL
    - サブライン用説明です。NULL に設定した場合、Admin System 内の製品レコードでの説明は使用されません。(Sales Portal レコードでの説明を使用するには、NULL に設定します。)
  - 数量
    - デフォルト値: =1\*input.quantity
    - サブライン用数量です。(値が指定されない場合、数量は Sales Portal でのコンフィギュレーション行数量に設定されます。)

- 単位
  - デフォルト値: =NULL
  - サブライン品目の測定単位です。NULL に設定すると、Admin System 内の製品レコードの測定単位が使用されます。(Sales Portal レコード測定単位を使用するには、NULL に設定します。)
- UnitPrice
  - デフォルト値: =NULL
  - サブライン用単価です。NULL に設定されている場合、Admin System 内の製品リスト価格設定レコードの価格が使用されます。(Sales Portal 製品リスト価格設定を使用するには、NULL に設定します。)
- ラベル
  - デフォルト値: =NULL
  - サブライン用ラベルです。(NULL に設定すると、既存の Sales Portal サブラインラベルが使用されます。)
- 順序
  - デフォルト値: =0
  - 親を同じくするサブライン間での順序です。この順序は、Sales Portal 内で生成されるサブラインの番号付けをコントロールします。例:1.1、1.2、1.3値を指定しない場合は 0 が使用され、行はルールが実行された順序で Sales Portal に追加されます。

## 迅速変更の使用

[迅速変更]を使用することによって、見積または注文の選択行に対する 1 つ以上のコンフィギュレーションオプションを変更することができます。

- 1 見積または注文を選択し、[迅速変更]をクリックします。
- 2 [フィルター基準]リストから、品目の拘束モデルを選択して、品目のコンフィギュレーションオプションをロードします。オプションリストには、Sales Portal データベースの製品テーブル内にある [ConstraintCaption] フィールドの値が自動的に入力されます。
- 3 適用したいオプションの隣にあるチェックボックスを選択します。
- 4 行ごとに[オプションの適用]チェックボックスを選択するか、[すべての行を選択]ボタンを選択します。
- 5 [オプションの適用] ボタンをクリックして、新しく選択したオプションを、指定した行に適用します。

## グローバルオプションのコンフィギュレーション

[品目選択] セクション内の [グローバルオプション] タブで、品目のグローバルオプションを選択できます。このタブは、グローバル拘束モデルが有効化され、Design Studio で定義されている場合にのみ、アクティブになります。



グローバル拘束モデルを有効にするには:

- 1 貴社のCPQインスタンスの `SalesPortal\Client\Configuration\appSettings.config` ファイルを開きます。
- 2 `[GlobalConstraintModelDefined]` キーの値を `[True (真)]` に設定します。
- 3 ファイルを保存します。
- 4 サーバーに `iisreset` を実行します。
- 5 Design Studio で、`[拘束モデル]` メニューを右クリックし、`[グローバル拘束モデルの作成]` を選択します。このオプションが使用できない場合、グローバル拘束モデルが既に定義されています。

## 見積行の調整

[見積行] セクションへの品目の追加後、個々の行品目を調整できます。

- 1 見積を選択し、調整すべき行品目を見つけます。
- 2 `[オプション変更]` をクリックして Configurator を起動し、品目用コンフィギュレーションオプションを変更します。
- 3 オプションを変更し、`[価格詳細]` をクリックして、コンフィギュレーション可能品目用の詳細価格情報を表示させます。このオプションは Admin System の `[見積/注文メンテナンス]` 優先事項で有効化/無効化できます。
- 4 `[価格の調整]` をクリックして、行レベルで価格を調整します。サブラインを持つコンフィギュレーション品目には、`[価格の調整]` リンクは表示されません。価格の調整はすべてサブライン品目で行う必要があります。サブライン品目で何らかの調整を行うと、それによってコンフィギュレーション親品目の価格が再計算されることとなります。IntegrationOutputID が現在のコンフィギュレーションおよび再コンフィギュレーション結果に付与されたサブライン品目用のものと同じである場合、コンフィギュレーション親品目の再コンフィギュレーション時、サブライン品目に関する価格調整をメンテナンスします。
- 5 `[コンフィギュレーションに名前を付ける]` をクリックして、完全にまたは部分的にコンフィギュレーションした品目の個々の行コンフィギュレーションを保存します。ユーザー用、会社用、あるいは場所用に作成できます。場所のセキュリティが有効である場合、`[場所用]` オプションが表示されます。追加後、コンフィギュレーションは、`[品目選択]` エリア内の `[名前付きコンフィギュレーション]` ボタンによりメンテナンスすることができます。このダイアログボックスを使用して、コンフィギュレーションを検索および除去できます。また、コンフィギュレーションの数量を行として追加することができます。このオプションは Admin System の `[見積/注文メンテナンス]` 優先事項で有効化/無効化できます。

## 見積から注文への変換

- 1 `[発注]` をクリックします。このオプションを選択するには、`[見積行]` セクション内に品目が少なくとも 1 つは必要です。
- 2 `[発注]` ボタンをクリックすると、注文が製造業者に送付されます。発注が実行されたことを伝えるメッセージボックスが表示されます。そこには注文番号も表示されます。

## すべての見積行のエクスポート

この機能は見積のヘッダーや価格設定情報をエクスポートするものではありません。Sales Portal では見積行をエクスポートすることが可能です。コンフィギュレーション行にサブライン品目が含まれている場合は、サブライン品目もエクスポートされます。エクスポートプロセスは、ブラウザおよび設定によって異なり、タブレットユーザーは使用することができません。

- 1 [追加] > [エクスポート]を選択します。
- 2 見積行をエクスポートするには、XML をどこかに保存します。
- 3 ダウンロードダイアログボックスを終了します。

## 見積行のインポート

このオプションは、見積のヘッダーや価格設定情報はインポートしません。このオプションは、サブラインとともにエクスポートされたコンフィギュレーション品目のいずれかをインポートするものです。インポートプロセスはブラウザおよび設定により異なります。タブレットユーザーは使用できません。

- 1 [追加] > [インポート]を選択します。
- 2 [ファイル選択/ブラウズ] ボタンを使用してファイルを見つけます。
- 3 [インポート] をクリックします。インポートされた見積または行は [見積行] セクションに追加され、検証されます。

## 見積/注文へのファイル添付

この機能によって、1つ以上のファイルを見積/注文に添付することができます。1つ以上のファイルヘッダーレベルに添付した場合、[添付] アイコンが見積 ID の隣に表示されます。

見積/注文にファイルを添付するには:

- 1 Sales Portal 内で見積を表示または作成します。
- 2 [添付] ボタンをクリックします。
- 3 [新規] をクリックします。
- 4 [説明] フィールド内に説明を追加します。
- 5 [ファイル] フィールド内の [フォルダー] アイコンをクリックして、必要なファイルを見つけます。
- 6 [保存] をクリックします。

保存したファイルは、添付グリッド内にエントリーとして表示されます。

追加のオプション:

- 削除:[アクション] アイコン > [削除] ボタンを選択すると、ファイルが削除されます。

## 見積/注文行へのファイル添付

1 つ以上のファイルを Sales Portal 内の見積または注文の行またはサブラインに添付します。1 つ以上のファイルを行レベルで添付すると、品目名の隣に [添付] アイコンが表示されます。コンフィギュレーション親品目が再コンフィギュレーションされても、サブライン品目へのサブライン添付は維持されます。IntegrationOutputID は、現在のコンフィギュレーションおよび再コンフィギュレーション結果に付与されたサブライン品目用のものと同じです。

- 1 Sales Portal 内で見積を表示または作成します。
- 2 必要な見積行を選択し、[さらに] > [添付] を選択します。
- 3 [新規] をクリックします。
- 4 [説明] フィールドに説明を入力します。
- 5 [ファイル] フィールド内の [フォルダー] アイコンをクリックして、必要なファイルを見つけます。
- 6 [保存] をクリックします。

[追加のオプション:]

- 行添付非表示ボタン: 添付グリッドをフィルタリングして、見積/注文ヘッダーレベルの添付のみを表示します。
- 削除:[アクション] アイコン > [削除] を選択して、添付を削除します。

[追加のオプション:]

- 行添付非表示ボタン: 添付グリッドをフィルタリングして、見積/注文ヘッダーレベルの添付のみを表示します。
- 削除:[アクション] アイコン > [削除] を選択して、添付を削除します。

## 見積または注文を新しいタブで開く

新しいタブで開く注文ごとにこの手順を行います。一度に複数の注文を当該タブ内に開くことができます。

### 見積を新しいタブで開く

見積を新しいタブで開くには:

- 1 Sales Portal にログインします。
- 2 [見積] ページで、必要な顧客名のすぐ隣にある [開く] アイコンをクリックします。
- 3 [新規ページを開く] を選択します。

注文を新しいタブで開く

注文を新しいタブで開くには:

- 1 Sales Portal にログインします。
- 2 注文ページで、必要な顧客名のすぐ隣にある [開く] アイコンをクリックします。

- 3 [新規ページを開く] を選択します。

## 期限切れ、機会を逸した (損失)、または破棄済み見積の取り扱い

「オープン」見積はアクティブな注文です。「オープン」見積は [見積] ダイアログボックスで開いて編集することができます。注文に変換済み、機会を逸した (損失)、期限切れ、または破棄済みの見積は、編集できない「クローズド」見積です。この種の見積を後で再度取り扱うには、見積を一旦エクスポートした後、当該見積を新規見積にインポートします。見積検索グリッドを使用して、「クローズド」見積を検索できます。

## 見積または注文の電子メール送信

- 1 Sales Portal 内で見積を表示または作成します。
- 2 必要な顧客を選択します。
- 3 [印刷] をクリックします。
- 4 [電子メール] をクリックします。
- 5 以下の情報を指定します。

- From (送信元):  
例:Representative@email.com
- To (送信先):  
例:Customer@email.com
- 件名:(見積 ID)  
例:SQC000035\_1
- 電子メールメッセージ  
例:お客様がご依頼の見積を添付いたしました。

これらのフィールドに関する詳細情報については 29 ページの「デフォルト電子メールフィールドのセットアップ」を参照してください。

- 6 [送信] をクリックします。

## 電子メールサービスの作動

- 1 C:\inetpub\wwwroot\CPQ\Sales Portal\Client\Configuration に移動します。
- 2 テキストエディターで appSettings.CONFIG ファイルを開きます。
- 3 下記の 3 つの SMTP 参照事項を探します。
  - 「SMTP サーバー」
  - 「SMTP ユーザー名」

- ・ 「SMTP パスワード」
- 4 3つの SMTP 参照事項を貴社の SMTP サーバー情報と置き換えます。
  - 5 [保存] をクリックします。

## デフォルト電子メールフィールドのセットアップ

[送信先] および [送信元] フィールド、ならびにデフォルト情報付き電子メールメッセージテキストを設定します。

### 送信元のセットアップ:フィールド

- 1 Sales Portal Administration から [ディーラー] をクリックします。
- 2 必要なディーラーの名前をクリックすることによって、ディーラーを表示します。
- 3 担当情報内で、必要な電子メールアドレスを [電子メール] フィールドに入力します。

### 送信先のセットアップ:フィールド

- 1 Sales Portal から、[顧客] > [検索] を選択します。
- 2 顧客名のすぐ左にあるアイコンをクリックすることによって、必要な顧客を表示します。
- 3 [連絡先] タブをクリックします。
- 4 連絡先名のすぐ左にあるアイコンをクリックすることによって、必要な連絡先を表示します。
- 5 連絡先ウインドウ内で、顧客電子メールアドレスを [電子メール] フィールドに入力します。
- 6 [OK] をクリックします。
- 7 [顧客情報] ページで、電子メール形式でデフォルト表示される顧客電子メールアドレスに [デフォルト連絡先] フィールドを設定します。

### デフォルト電子メールメッセージのセットアップ

- 1 Sales Portal から、[アカウント情報] > [マイ会社プロフィール] を選択します。
- 2 [優先事項] をクリックします。
- 3 [見積/注文メンテナンス] タブをクリックします。
- 4 [電子メールテンプレート] セクション内で、[デフォルト電子メールテンプレート] フィールド内にデフォルトの電子メールテキストを入力します。
- 5 [OK] をクリックします。

## 校正レポートの生成

- 1 [Sales Portal] > [見積] を選択し、新規見積を選択または作成します。
- 2 顧客ドロップダウンメニューから必要な顧客を選択します。
- 3 [品目] タブから、校正レポートに含めるすべての行項目を見積行に追加します。
- 4 [校正レポート] ボタンをクリックします。

## 注文の取り扱い

### 注文の作成

開始する前に、あなたの [注文権限] が [直接注文可] に設定されていることを確認してください。ディーラーアドミニストレーターはこの設定を [マイプロファイル] ダイアログボックスで変更することができます。

- 1 [注文] > [新規]を選択します。
- 2 場所のセキュリティが有効化されている場合、ディーラー場所を選択します。
- 3 必要に応じて、[顧客] オプションリストから顧客を選択します。既存の注文で新しい場所を選択した場合、既に選択されている顧客がその新しい場所にも存在する場合は、その顧客が選択されたままになります。選択した顧客の通貨および為替レートが現在の見積のものとは異なる場合、すべての行が、新しい通貨および為替レートで再計算されます。
- 4 [品目] タブをクリックします。
- 5 以下の情報を指定します。

[品目]

オプションリストから品目を選択します。

[ラベル]

品目のラベルを指定します。

[数量]

品目の数量を指定します。

- 6 必要に応じて [コンフィギュレーションオプション] タブのコントロールを使用して、オプションを選択します。このタブのオプションは、Design Studio 内の拘束モデルによって設定します。
- 7 必要に応じて [コンフィギュレーション] > [追加] ボタンをクリックして、当該品目に関する追加のオプションを表示し、を選択します。
- 8 必要に応じて、[印刷] ボタンをクリックすることによって、見積提案書を閲覧することができます。
- 9 [発注] をクリックします。発注条件が表示され、見積が作成されます。

プロジェクトおよびジョブは、見積の整理に役立つオプションツールです。

## プロジェクトおよびジョブの取り扱い

プロジェクトは、顧客に関連付けられている見積を系統立てる方法です。例えば、顧客が複数の見積をもっている場合、プロジェクト機能を使用して、顧客の見積をプロジェクトに系統立てることができます。プロジェクトの作成後、新規見積の作成中に、[見積] ダイアログで見積にプロジェクトを割り当てます。

ジョブは、プロジェクトに関連付けられる取引エンティティです。ジョブにはプロジェクトが必要です。ジョブは、顧客の見積を系統立てるのに役立つ、もう1つの体系化ツールです。プロジェクトおよびジョブは、貴社が開始/停止を決定する内的設定に基づいて表示および使用されるエンティティです。

[プロジェクト情報] セクションを使用することによって、プロジェクト名を指定することができます。プロジェクトに関連付ける顧客を選択します。状況 (アクティブまたは非アクティブ) を明確にし、説明を提供します。名前および顧客をプロジェクトに割り当てする必要があります。

プロジェクトツールバーを使用することによって、最後の見積に進んだり、プロジェクトをコピーおよび削除したりすることができます。

[ジョブ] セクションを使用することによって、ジョブをプロジェクトに関連付けることができます。ジョブ検索グリッドを使用して、プロジェクトに関連付けられているジョブを検索することもできます。プロジェクトのジョブへの割当は任意です。

## プロジェクトの作成

- 1 [プロジェクト] > [新規]を選択します。
- 2 [顧客] オプションリストから顧客を選択します。
- 3 [状況] オプションリストから状況を選択します。
- 4 必要に応じて、説明を指定します。

## ジョブの作成

- 1 新規ジョブに関連付けたいプロジェクトを検索します。
- 2 顧客を選択します。
- 3 [新規ジョブ] をクリックします。
- 4 以下の情報を指定します。

[状況]

状況を指定します。

[名前]

名前を指定します。

[説明]

必要に応じて、説明を指定します。

- 5 [OK] をクリックします。



Sales Portal または Document Automation により見積または注文を作成した後、貴社のカスタマイズ可能な提案書を作成し、顧客に送付する前に閲覧することができます。[印刷] ボタンをクリックした後に見積または注文をプレビューするよう選択すると、提案書のプレビューが新しいタブで開きます。元のタブは、閉じられるまで、印刷オプションウィンドウを表示し続けます。印刷オプションウィンドウからドキュメントを印刷するよう選択すると、ドキュメントは印刷され、印刷オプションウィンドウは自動的に閉じます。

## 印刷オプションの設定

[印刷オプション] ダイアログボックスを使用して見積提案書をデザインできます。それぞれのセクションには、提案書の表示前に選択できるオプションが含まれています。

- 1 見積を選択し、[印刷] をクリックします。
- 2 印刷オプションを選択します。デフォルトの印刷オプションは、Admin System で、見積/注文印刷プレビュー優先事項として設定されます。
- 3 [多通貨] 優先事項が有効化されている場合、以下の情報を指定します。

[通貨コード]

見積の [ヘッダー] タブから報告通貨コードを表示します。

[為替レート]

見積の [ヘッダー] タブからディーラー通貨と報告通貨間の為替レートを表示します。

[カルチャの表示]

オプションリストからカルチャを指定します。データベースで無効化されているカルチャは表示されません。

## 提案書の優先事項設定

見積または注文を作成した後、顧客に送付する提案書を作成することができます。

見積/注文の印刷プレビューのデフォルトを設定するには:

- 1 [ユーザーボタン] > [マイ会社プロフィール] > [優先事項]を選択します。
- 2 [見積/注文印刷プレビュー] タブを選択します。
- 3 下記のオプションから優先事項を選択します。

名前	説明
オプションビュー	コンフィギュレーションオプション用に表示される詳細のレベル
オプションスタイル	コンフィギュレーションオプションの表示に使用するスタイル
表形式スタイルのマージン	表スタイルになっているときの、コンフィギュレーションオプションと値間のマージン (単位: ピクセル)
オプション値区切り	パラグラフスタイルのオプション値ペアを区切るのに使用する文字
承諾サインオフの表示	承諾サインオフブロックのデフォルト
失効日の表示	見積有効期限のデフォルト
運賃条件の表示	デフォルトの運賃条件
注文コメントの表示	見積/注文コメントのデフォルト
支払条件の表示	デフォルトの支払条件
見積名の表示	見積名のデフォルト
詳細情報	見積/注文詳細のデフォルト
ロゴ	PDF 形式の見積に使用するロゴのファイル名 CPQ インスタンスからのデフォルトのイメージパス:SalesPortal\Client\Themes\Default\Images\
表示	イメージのデフォルト表示モード
サイズ	行項目イメージのデフォルトのサイズ
行ヘッダー	行品目用ヘッダーの表示/非表示
透かしの表示	背景に透かしイメージを表示
表示	[価格] 列 / [原価] 列に表示される値
税金、送料、手数料、その他請求の表示	税金、発送手数料および取り扱い手数料、ならびにその他手数料の表示/非表示

## 提案の価格設定の表示変更

[印刷オプション]ダイアログでさまざまな価格オプションを選択することによって、提案書に表示する価格を変更することができます。[見積] ダイアログの [価格設定] タブによってこれらの価格が生成されます。

- 1 [見積] ダイアログで、[印刷] をクリックします。
- 2 必要な価格設定表示オプションを [価格] セクションから選択します。

価格設定メニューのオプションと説明

価格メニューオプション	説明
原価	原価 (製造業者価格および製造業者割引) を見積提案書ページ下部の見積小計に表示します。
製造業者希望小売価格	製造業者希望小売価格 (製造業者割引は含まない) を見積提案書ページ下部の見積小計に表示します。
リスト	品目の定価を表示します。
販売 (行レベル)	行価格設定は、[価格調整] ダイアログに表示される販売価格と一致します。製造業者割引、マイ追加料金、および追加割引を適用します。
販売 (注文レベル)	顧客に対する割引合計を (行毎でなく) 見積下部の追加割引行に表示します。
販売 (合計のみ)	見積下部に合計を表示します。合計価格は、税金、追加料金、ならびに発送手数料および取り扱い手数料を反映しています。このオプションを備えた行価格設定はありません。

## PDF ファイル形式要件

提案書を印刷すると、Adobe ポータブルドキュメントファイル (PDF) に出力されます。PDF の表示には、お使いのブラウザのデフォルトの PDF リーダーが使用されます。



Sales Portal は個々のニーズに合わせてパーソナライズできます。

## ユーザーおよび会社のプロフィールについて

あなたのユーザープロフィールおよび会社プロフィールは、システムのインストール時に製造業者によってセットアップされます。

貴社のデフォルトの取引条件をいつでも変更することができます。貴社のシステムデフォルトを変更すると、Sales Portal 内で作成するすべての新規見積りに影響します。

### プロフィールの作成

- 1 [アカウント情報] > [マイプロフィール] を選択します。
- 2 [マイプロフィール] セクションで以下の情報を指定します。

[ユーザー ID]

Sales Portal へのサインインに使用するユーザー ID を指定します。

[Windows ユーザー ID]

標準の Sales Portal ログインページを経由するかわりに、Windows ユーザー ID を使用し、「ドメイン\ユーザー名」という形式で、ページに直接アクセスすることもできます。Windows 認証を使用して Sales Portal にアクセスするには、インストール時に指定したクライアント Windows 認証仮想ディレクトリに進みます。

例:

フォーム認証 URL の例:<http://localhost/SalesPortal81/Login.aspx>

Windows 認証 URL の例:<http://localhost/SalesPortal81WinAuth>

- 3 [アプリケーションの設定] セクションで以下の情報を指定します。

[モバイルコンフィギュレーションプロフィール]

モバイルブラウザの場合、一度に表示できるページ範囲が少なくなり、デスクトップの場合では見られないようなスクロール問題が発生する場合があります。モバイルコンフィギュレーションプロフィールを

使用して、モバイルブラウザを使用するユーザー向けにコンフィギュレーションエクスペリエンスを最適化できます。Sales Portal は、自動的にモバイルブラウザを認識し、ユーザーのモバイルコンフィギュレーションプロファイルを選択します。

注: このテキストボックスに有効なプロファイルを入力する必要があります。このオプションを使用しないとと思われる場合は、デフォルトのコンフィギュレーションプロファイル名を使用します。

[デフォルトランディングページ]

ログイン後に表示するページを指定します。

[言語]

ユーザーに表示する言語を指定します。オプションリストには、Sales Portal データベースで利用可能なすべての言語が表示されます。

[ディーラーの管理]

このチェックボックスは「ディーラーの管理」状況を示します。「ディーラーの管理」状況のあるプロファイルは、ディーラーアドミニストレーターとして機能し、会社プロファイル経由で担当の設定を変更できます。詳細情報については38ページの「会社プロファイルの作成」を参照してください。ディーラーの管理設定のあるプロファイルは、顧客の [すべての場所で有効化] 設定を変更することもできます。

## 会社プロファイルの作成

- 優先事項 :ディーラーレベルの優先事項を編集します。詳細情報については「優先事項の変更」を参照してください。
- アプリケーションの設定 :ディーラーレベルのアプリケーション設定を編集します。詳細情報については「アプリケーションの設定の追加」を参照してください。
- 場所の管理:担当でフィルタリングして、ディーラーの場所を管理します。場所のセキュリティが有効であり、ディーラー管理権限を有する場合のみこのオプションが表示されます。詳細情報については「場所の管理」を参照してください。

1 [アカウント情報] > [マイ会社プロファイル] を選択します。

2 [マイ会社プロファイル] セクションで以下の情報を指定します。

[場所セキュリティの有効化/直販モデル]

ディーラーに関連付けられた担当または場所がない場合のみ、これらのオプションを変更できます。

[製造基本通貨]

Admin System の優先事項 [アプリケーション] タブで製造基本通貨を設定します。オプションリストには、チャンネルセールスデータベースの通貨表で有効になっているすべての通貨が表示されます。

[ディーラー通貨]

ディーラーのデフォルト通貨を指定します。これは、見積または注文の [ヘッダー] タブでも表示されます。このオプションは、[多通貨] 優先事項が有効化されているユーザーが使用できます。

[為替レート]

製造基本通貨とディーラー通貨の間の為替レートを指定します。このオプションは、[多通貨] 優先事項が有効化されているユーザーが使用できます。ここで、つまりディーラーレベルで為替レートを調整すると、それは「ディーラー (ディーラー通貨) から製造業者 (製造基本通貨) へ」のレートとなります。この為替レートは、見積の [見積行] セクションで品目の価格を計算するために使用されます。

### 3 以下のタブで情報を確認します。

#### [[場所] タブ]

Admin System において入力されたディーラーの場所を表示します。

#### [[発注条件] タブ]

Admin System において製造業者によって設定された製造業者からディーラーへの価格条件、取引条件、および出荷条件を表示します。これは、すべての見積および注文に対しデフォルトになっています。

#### [[デフォルト条件] タブ]

ディーラーから顧客への価格条件、取引条件、および出荷条件を表示します。

注: デフォルト条件に加えた変更は、追加料金、割引、税といった項目の貴社のシステムデフォルトにのみ影響します。新規顧客の作成時、これらの割引が [デフォルト条件] タブに表示されます。新規見積の作成時、これらのデフォルトは、[価格設定] タブでも表示されます。貴社のシステムデフォルトに影響することなく、個別の顧客または見積のこれらのデフォルトをいつでも変更することができます。見積を作成し、価格が計算されると、あらゆる変更が [品目] タブ内で反映されます。

#### [[担当] タブ]

ライセンス数に応じて新しい担当を追加できます。担当を追加するには、ディーラー管理権限が必要です。

## 場所の管理

場所セキュリティが有効である場合のみ、[場所の管理] ダイアログが利用可能です。場所の管理には、次の 3 種類があります。

- [マイプロフィール] ダイアログから [場所の管理] を選択すると、場所は、ログインユーザーがアクセス権を持つそれぞれの場所に限定されます。
- [マイ会社プロフィール] ダイアログから [場所の管理] を選択すると、担当でフィルタリングされたディーラーレベル場所アクセスが表示されます。このオプションは、ディーラー管理権限を有するユーザーのみが使用することができます。
- [顧客情報] ページでは、「すべての場所での有効化」チェックボックスがあり、顧客が現在および将来の場所で有効化されるか指定します。このオプションは、ディーラー管理権限を有するユーザーのみが使用することができます。

## 優先事項の変更

[優先事項] ダイアログは、ディーラー管理権限を有するユーザーのみが使用することができます。Sales Portal アプリケーションをカスタマイズできます。自分の仕事のスタイルに合う優先値を設定します。ここで設定する優先事項がアプリケーションのデフォルトになります。

- 1 [ユーザー] > [マイ会社プロフィール] > [優先事項]を選択します。
- 2 カテゴリのタブを選択します。
- 3 優先事項を更新します。

Admin System で利用可能な優先事項とその説明

名前	説明
割引モード	割引の計算方法を設定できます。
表示モード	[価格設定] タブとプリンタービューに表示する割引と利幅のデフォルトの表示を設定します。
ShowAddDiscount	[価格設定] タブとプリンタービューで顧客への割引を表示します。
ShowCost	[価格設定] タブとプリンタービューで原価を表示します。
ShowDiscount	[価格設定] タブとプリンタービューで製造業者からの割引を表示します。
ShowList	[価格設定] タブとプリンタービューで定価を表示します。
ShowSelling	[価格設定] タブとプリンタービューで販売価格を表示します。
ShowSubTot	[価格設定] タブとプリンタービューで小計を表示します。
ShowUnit	[価格設定] タブとプリンタービューで単位数を表示します。
ShowUpcharge	[価格設定] タブとプリンタービューで追加料金を表示します。
追加料金モード	追加料金の計算方法を選択し、[価格設定] タブとプリンタービューで原価を表示します。

Admin System で利用可能な顧客ダイアログ優先事項とその説明

名前	説明
デフォルト国コード	住所を指定するときにデフォルトで表示される国です。

Admin System で利用可能なマイ品目の優先事項とその説明

名前	説明
失効 (今日以降の日数)	マイ品目のデフォルト失効日指定に使用されません。

Admin System で利用可能な見積/注文メンテナンス優先事項とその説明



名前	説明
[デフォルト] タブ	見積や注文の新規作成時に表示するデフォルトタブです。
オプション形式	サマリー詳細に使用するフォーマットです。
請求先/出荷先の変更に関するコンフィギュレーションの検証	選択した請求先または出荷先に変更があったか検証するコンフィギュレーション行を設定します。

## Admin System で利用可能な見積/注文印刷プレビュー優先事項とその説明

名前	説明
表示 (イメージ)	イメージのデフォルト表示モード
表示 (価格設定)	[価格] 列 / [原価] 列に表示される値
行ヘッダー	行品目用ヘッダーの表示/非表示
ロゴ	PDF 形式の見積に使用するロゴへの相対パス
表形式スタイルのマージン	表形式にしたときのコンフィギュレーションオプションと値の間のマージン (ピクセル)
オプション区切り	段落形式の中でオプションと値の区切りに使用する文字
オプションスタイル	コンフィギュレーションオプションの表示に使用するスタイル
オプションビュー	コンフィギュレーションオプションで表示される詳細のレベル
承諾サインオフの表示	承諾サインオフブロックのデフォルト
失効日の表示	見積有効期限のデフォルト
運賃条件の表示	デフォルトの運賃条件
注文コメントの表示	見積/注文コメントのデフォルト
支払条件の表示	デフォルトの支払条件
見積名の表示	見積名のデフォルト
税金、送料、手数料、その他請求の表示	税金、送料、手数料、その他請求の表示または非表示
透かしの表示	背景に透かしイメージを表示
サイズ	行項目イメージのデフォルトのサイズ

## アプリケーションの設定の閲覧

[アプリケーションの設定]ダイアログボックスは、ディーラー管理権限を有するユーザーのみが使用でき、支払いおよび出荷に関連した条件および方式を確認できます。各タブにある記録は事前定義またはユーザー定義によるものです。事前定義の値は無効にできますが、削除はできません。

## アプリケーションの設定の追加

- 1 [ユーザー] > [マイ会社プロフィール] > [アプリケーションの設定]を選択します。
- 2 カテゴリのタブを選択します。
- 3 [新規] をクリックします。
- 4 アプリケーション情報を指定します。
- 5 有効化チェックボックスを選択します。
- 6 [OK] をクリックします。

## デフォルトのアプリケーション設定

アプリケーションの設定で利用可能な事前定義の支払タイプ。

名前	説明
アカウント上	金額は顧客アカウントに請求されます。

アプリケーションの設定で利用可能な事前定義の支払条件

名前	説明
即時	請求書の受領時に支払い。
支払期限 10 日以内	請求書の受領後 10 日以内に支払い。
支払期限 15 日以内	請求書の受領後 15 日以内に支払い。
支払期限 30 日以内	請求書の受領後 30 日以内に支払い。
支払期限 45 日以内	請求書の受領後 45 日以内に支払い。

アプリケーションの設定で利用可能な事前定義の出荷方式

名前	説明
優先事項なし	システムはこれを通常の注文として扱います。
出荷完了	この注文は一括配送します。品目が揃わないと発送までに時間のかかる恐れがあります。
受注残なし	この注文は在庫を押さえ次第発送します。一旦出るとクローズとなり、受注残はありません。

名前	説明
分納	この注文は分納可です。品目は入り次第、順次発送されます。送料の増加が見込まれます。

## アプリケーションの設定で利用可能な事前定義の運賃条件

名前	説明
原価と運賃	荷送人が輸入代金の一部を負担、荷受人が残りを支払う。
着払	着払 – 荷受人が料金をすべて支払う。
関税支払で納入	関税支払、付加価値税未払で納入
倉庫ドック	倉庫ドック。
FOB (本船渡し)	荷送人が輸出代金の一部を負担、荷受人が残りを支払う。
前払	荷送人が出荷料金をすべて支払う。
送料、関税、租税	荷送人が送料、関税、租税を支払う。

## アプリケーションの設定で利用可能な事前定義の運送業者。

名前	説明
ABF Freight System	これは、優先の運送業者設定です。運送業者とともに、運送方法オプションもまたこのカテゴリで指定できます。
FedEx	これは、優先の運送業者設定です。運送業者とともに、運送方法オプションもまたこのカテゴリで指定できます。
Pilot Freight Services	これは、優先の運送業者設定です。運送業者とともに、運送方法オプションもまたこのカテゴリで指定できます。
Towne Air Freight	これは、優先の運送業者設定です。運送業者とともに、運送方法オプションもまたこのカテゴリで指定できます。
TST Overland Express	これは、優先の運送業者設定です。運送業者とともに、運送方法オプションもまたこのカテゴリで指定できます。
United Parcel Service	これは、優先の運送業者設定です。運送業者とともに、運送方法オプションもまたこのカテゴリで指定できます。
YRC Worldwide	これは、優先の運送業者設定です。運送業者とともに、運送方法オプションもまたこのカテゴリで指定できます。

#### [発送方法]

[Next Day Air]、[Ground Freight]、[Second Day] といった発送方法が設定できます。

発送方法グリッドは、オプションリストから選択した運送業者でフィルタリングされます。運送業者の選択後、その運送業者に指定できる発送方法のみが発送方法グリッドに表示されます。運送業者リストにおいて、多様な発送方法が用意されています。

## Sales Portal トレースの有効化

Sales Portal トレースを有効化すると、システムパフォーマンスと使用状況に影響します。本稼働環境において長時間トレースを有効にすることは推奨されません。このファイルを定期的にモニタリング・削除するようにしてください。

- 1 C:\inetpub\wwwroot\- 2 [トレースの有効化] を選択します。
- 3 [適用] をクリックします。サーバーで iisreset が実行され、セッションが終了します。
- 4 [OK] をクリックします。
- 5 トレースファイルを確認するには、C:\inetpub\wwwroot\